

一般社団法人 御前崎スマイルプロジェクト

各事業における 2019 年度活動

報告と 2020 年度事業計画



スマイルプロジェクト



4大 ミッション

01

海の安心安全事業

各関係機関と連携を取り、

『海辺の安心・安全な環境作り』

を目的とした事業

02

自然環境保全事業

『御前崎の砂浜を未来に残す』

ため、ビーチクリーンや養浜に人を

結びつけることを目的とした事業

03

青少年健全育成事業

マリンスポーツや海洋体験を通して、

子ども達が『地元を愛する心』

を育むことを目的とした事業

04

海と人をつなぐ事業

より多くの方に、

「御前崎の海を楽しんで頂く」

ことを目的とした事業

御前崎渚の交番 Web サイト

<http://omaezaki-nagisa-koban.com/>



御前崎渚の交番
LINE 公式アカウント

1

海の安心安全事業

この事業は“御前崎の海を様々な人たちに安心、安全に楽しんでもらいたい”という思いと“次世代へ安心、安全な海を伝えたい”という思いから私たちが推進している事業です。

この思いを実現させるために、様々な活動を実践しています。

2019年度も例年通りの活動にプラスアルファして活動の場を広げ、より活性化したものとなりましたので、報告いたします。

まずは、青色パトカーによる市内沿岸線の防犯パトロールです。これは土日を中心に年間 200 日以上を目標に実施しており、昨年度は 218 日（前年 211 日）の活動実績となっております。パトロールでは車上荒らしへの警戒や沿岸部での危険行為、不審物、不審者等への警戒などを行っています。特に年度末から年度はじめにかけてコロナウィルス感染拡大防止のため、市内沿岸の駐車場が閉鎖され、違法駐車なども見受けられたため、パトロールの際、注意喚起させていただきました。



次に「着衣泳」です。こちらは市内の小学校のプールへ我々が出向き、落水体験やその後の対応などについて学ぶプログラムで昨今、全国的に盛んに行われております。静岡県内におきましては日本赤十字社静岡県支部が毎年 25 校ほどで実施しておりますが、抽選での選定となります。御前崎市内においてはわたしたちが対応し、例年 3~4 校の学校から依頼があります。今年はコロナの影響により残念ながらプールが使用不可とのことで実施できませんが、御前崎マリンスポーツクラブの働きかけにより、教室で「水辺の安全教室」という授業形式で指導にあたることになっています。



次に「海上パトロール」です。これは沿岸部からは確認できない場所、声の届かない海上などを水上オートバイで警戒パトロールをするもので、月1~2回の頻度で行っており、このパトロールは真冬でも実施します。実際にはマリナーパークから浜岡砂丘沖へ、折り返して御前崎港マリナーまで航行、その後マリナーパークへ戻るといった1時間半ほどの行程で実施します。昨年度は特に台風が頻繁に襲来したため、航路上に大きな流木などの浮遊物が多く、船舶の安全航行のため撤去作業をすることが多くありました。



続いて「レスキュー練習会」です。これは毎月定例で行っているもので、レスキューチームメンバーの技術の向上を目的としています。現在、スマイルプロジェクトレスキューチームの有資格メンバーは約20名おり、この訓練ではメンバーの技術力向上を目的に、水上バイクの基本操船、レスキュー手法の反復練習、レスキューシミュレーションなどを実施しています。昨年度は合計16回（前年15回）、延べ82名（前年65名）の参加となっています。特に昨年度は熱心に毎回参加して下さるメンバーの方が増え、基本的な操船に関しては全体的な底上げが図れました。今後はさらにハードなコンディション下でも対応できるスキルを身につけていただけるよう、訓練メニューを考え、実施していきたいと思っております。



また、これらの活動以外にも事故発生等の緊急時やそれに備えた体制を整えるという意味で様々な機関、団体と連絡、連携を図っています。警察、消防、海保といった地元の公務救難機関との連携を深めつつ、全国組織の水難救済会、シーバード、ウォーターリスクマネジメント協会などから全国の事例や情報などを収集し、様々な活動や緊急時の対応方法について学びを深めています。

さて、ここで昨年度のこの事業におけるトピックスを紹介したいと思います。

まずは「新規青パトの実働」を開始したことです。前年度末に申請、登録を済ませ、昨年度から本格稼働しはじめ、沿岸パトロールはもちろんのこと、水上オートバイの運搬や緊急出動時の足として運用しました。古い車両では故障の心配などもありましたが、新しい車両での活動はやはり安心感があります。劣化が進まないよう、日々のメンテナンスやこまめな洗浄を心掛け、大切に使用していきたいと思っています。

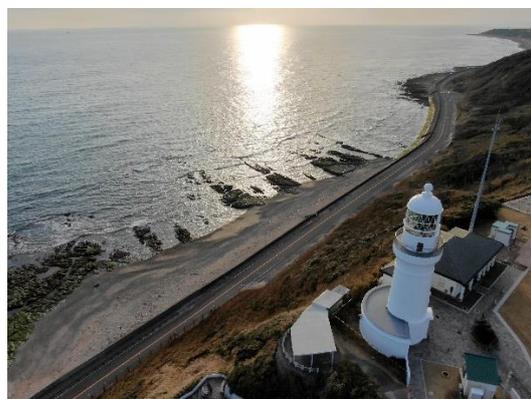


次に「御前崎市消防との合同訓練」についてです。これは昨年度5月に締結された「御前崎市消防本部と一般社団法人御前崎スマイルプロジェクトの災害時における協力体制に関する覚書」(…事故や災害時に可能な限りお互いに協力し合う、また連携を深めるために合同訓練を実施する等)を取り決めたもの)に基づいたもので、これまでよりもいっそう密な関係性で訓練を実施できました。今年度においてもさらに実践的な訓練(出動シミュレーション訓練等)を合同で実施していきたいと考えております。



次に「ドローンの現場活用」についてです。前々年度末に購入したドローンでしたが、操縦に慣れるまでである程度の飛行訓練が必要で、現場投入まで時間がかかりました。しかし、昨年度においては合同訓練時のデモンストレーションを皮切りに、実際の捜索活動時に運用できる機会を得ることができました。ヘリコプターとの兼ね合いで飛ばせないこともありましたが、水上オートバイの出動までのタイムラグ

を埋めるための捜索や、遠方、広範囲の捜索などには活用の可能性が強く感じられました。現在は海上パトロールやレスキュー練習会の際、撮影も兼ねての訓練飛行を頻繁に行っております。今年度は専門アドバイザーからの指導の下、さらにスキルアップを図っていきます。



最後に昨年度の出動実績についてご報告いたします。

- ① 9月8日（日）12時30分頃、御前崎海上保安署からの連絡で中西川河口にサーファーが4名流されているとのこと。渚の交番から水上オートバイをパトカーで牽引し、現地へ。この日は台風が急接近してきており、急激に波が高くなり、それに伴って河口付近の流れも強くなったため、岸へ戻れなくなった模様。現着と共に状況を確認したが、すでにヘリが2機到着しており、ヘリによる救助を試みるとのこと。1名は自力で岸へたどり着き保護され、他3名もヘリにより揚収。軽いケガはあったものの全員、命に別状はなかった。全国ニュースにもなった大きな事故となった。
- ② 12月22日（日）12時18分、御前崎海上保安署からマリパーク周辺で釣り人が昨夜から行方不明になっているとことで捜索依頼があり、出動。捜索が前提となっていたため、水上オートバイ2艇を渚の交番から回送、同時にドローンの手配もしてマリパークへ。市消防の水上オートバイも出動し、3艇+ドローンにて捜索。海上保安署も巡視艇にて捜索。また海保、消防の潜水隊も加わり、釣り人が釣りをしていたと思われるエリアにおいて水上と水中の両面から捜索活動を行った。途中、水上オートバイにてダイバーの搬送などを行う。日没まで捜索が続いたが、発見にはいたらず。翌日も消防と海保による捜索がつづき、渚の交番も沿岸パトロールにて市内各所を見て回ったが、やはり発見できず、捜索は打ち切りとなった。

このほか、誤報による出動1件、出動後すぐに救助の連絡が1件で昨年度の出動依頼は計4件でした。以上が実際の出動事案です。

私たちはこのように、様々な活動を通して「海の安心安全」が守られるよう努めております。そして、2020年度の「海の安心安全事業」としまして、今年は特に「海の安心安全活動の周知および関係団体との連携強化」をテーマに活動してまいります。そのために・・・

まずは、私たちが行っている活動を市民のみなさんへ広く知っていただけるよう行動していきます。例えば、一般の方に対してはLINE 公式アカウントの取得、インスタやフェイスブックといった SNS の活用、HP 上でのドローン撮影動画の配信など、目で見て楽しめる情報として活動内容を発信し、存在を認識していただけるよう努めていきます。また、行政担当課、観光協会、公務救難機関（警察、消防、海保等）などの関係機関、団体への報告を確実にし、私たちの存在意義を認めていただけるよう行動していきたいと考えます。そのためにも、関係各団体との連携を強化していく必要があります。

特に、公務救難機関のみなさんとは緊急時の対応等でスムーズな対応が必要となりますので、普段から顔の見える関係性を築き、有事の際、お互いに信頼感をもって対応、協力しあえる関係となれるよう、合同訓練、合同パトロールの機会を作っていきます。

これらに取り組むことで私たちの活動が市民のみなさんにとってさらに有益なものとなり、『御前崎の海』が『安心安全に過ごせる場所』として広く認識していただけるよう、2020 年も活動を進めていきたいと思えます。



●養浜

昨年度は例年通り春と秋で 20000 m³ほどが投入されています。

今年はコロナウィルスの影響があり 3 月の会議が行われておらず、昨年度の実績詳細はその後にしか公開できないとの事です。会議後に詳細資料をもらう事になっています。

今期に関しては昨年度マリパーク内から浜岡砂丘に砂を大量に運んだこともあり予算が変則的になった事、マリパークの砂が減った事を理由に春の養浜はありません。

秋に 10000 m³の投入が行われる予定となっているようです。

変則的なのは今期に限っての事で 来年度からは例年と同じ 20000 m³の養浜が行われていく方向性の様です。



●フォトコンテスト

昨年度、中止を検討していましたが、アドバイスを受けて急遽 2 月から開催いたしました。

今年は初めての方の応募もあり、また今までとは雰囲気の違い応募作品などもあり継続したことで認知されてきた事、開催をして良かったと思っています。

その後コロナウィルスの影響で投票と表彰が延期になってしまっていますが、6 月 30 日に結果発表、7 月 4 日に授賞式を行いました。



3

青少年健全育成事業

2020年度のアクティブマリン教室は、COVID19の影響で当初予定していた募集要項を大幅に変更し、6月21日よりスタートすることになりました。

1クラス6人制の少人数、募集を御前崎在住者に限定、シャワールームを使用しない等、感染防止に最大限に配慮した形でのスタートとなっています。

例年とは違い、海遊びというよりは、少人数制のメリットを生かし、より専門的で教育的なプログラムにしていきたいと思えます。

このプログラムを通して、海の安心安全やマリンスポーツの素晴らしさを、より深く伝えていけたらと考えています。

一度は頓挫したプログラムで、説明会も中止になりましたが、昨年の参加者及び、スマイルのFBやHPだけの告知で募集したにもかかわらず、既に多くの方が参加予定となっています。

このことを鑑みても、プログラムが定着してきていることを実感しています。

ここ数年の傾向としては、お子様と一緒にマリンスポーツを楽しみたいとの要望で、父兄さんの参加が増加しています。

これまでの子供中心だったスクールは親子で楽しむという新しいマリンスポーツの形ができてきたことは非常に嬉しく思っています。

スクール生の数が増えることで、例年インストラクターの確保が難しい問題に直面してきましたが、御前崎ウインドサーフィングクラブの卒業生や在校生がインストラクターとして手伝いに入ってくれることで、指導者不足の問題も解決し、指導レベルも高まっていると感じています。



2012年に発足したOWC（御前崎ウインドサーフィングクラブ）は、週3回（水・土・日曜日開催）の定期活動を行うことで、外部部活として参加する子供たちが増え、クラブ活動として本格的なウインドサーフィンを学びたい子供たちの受け皿の組織作りができています。

長期的にクラブ活動を行ったことで、技術的にも精神的にも成長した生徒たちは、全国で行われている大会においても毎年多数が上位に進出するほどの実力をつけています。

また日本のみならず、世界での活躍を目指す子供も出て来ています。

こうしたクラブの活動を理解・賛同してくださる企業様も出てきたことで、今後はより良い環境づくりを心掛けたいと考えています。



プログラム以外の活動としては、御前崎小学校と公民館が行っている通学合宿（4年生～6年生の40人が参加）の中でマリンスポーツ体験を取り入れていただいています。（2020年度は残念ながら通学合宿自体の中止が決まっています）

来年度で10年目となるマリン体験なので、来年開催できるように尽力いたします。

これから夏にかけては、アクティブマリクラブとOWC定期クラブの練習がマリパークに置いて毎週末開催されます。

今年は例年以上に海に来る観光客や地元の方が多く感じています。

これからのシーズンに、こうしたクラブの活動を目にすることで、御前崎がマリンスポーツの非常に盛んな町であることをアピールできることでしょう。

こうした海水浴場を取り巻く環境で、多彩な種類のマリンスポーツが盛んに行われていることは非常に稀有なことです。御前崎ならではの光景を、夏だけではなく年間の風物詩となるように、さらに発展していけるように努力していきます。

2019年度の「海と人をつなぐ事業」では例年通り、様々なイベントを開催し、老若男女問わず多くの方々に海に接する機会を持っていただくことができました。

●GW イベント

例年同様、自衛隊および警察による車両展示や子供たちを対象に潮干狩り、磯の観察会を開催。連休の4日間での来場者は約2000人ほどでした。今回は特に警察のパトカーに加えて白バイの展示があったり、自衛隊もロボット型の展示物を展示したりと子供たちにも人気の展示となりました。また、今回から新たな試みとしてドローン操縦体験を取り入れ、こちらもたくさんご家族連れが体験してくださり、体験待ちの列ができるほどでした。子供よりもむしろ父母の食いつきがよく、親子で楽しんでいただけた様子でした。磯の生物観察会も定着し磯遊びや海洋生物に興味を持ってくれる子供たちが増えていると感じています。



●スマイル SUP マラソン

今回で4回目を迎える「スマイル SUP マラソン 2019」、ぎりぎりまで悪天候が続き、開催が危ぶまれましたが、波風が残るコンディションながらも、なんとか開催することができました。今回も約100名のパドラーが全国から集結し、小学生から60代までの選手が日ごろの成果を発揮するべくスピードを競い合いました。特にトップカテゴリーのクラスに参加されたみなさんの荒れた海面をぐいぐいと漕ぎ進む姿は圧巻でした。

大会にはサーフィンのオリンピック中国代表の選手も参加していただき、一緒にビーチクリーンを実施。静岡の海を肌で感じてもらえたようで良い国際交流にもなった。レースは特にケガなどもなく、無事に終わることができました。



●御前崎海水浴場への集客

毎夏、マリパーク御前崎にて実施している、マリニアトラクション運営。2019 年もバナナボート、水上アスレチックの設置、運営を実施しました。今回は残念ながら、度重なる台風の襲来により、思っていたような集客が得られず、前年対比で約 5 割程度の売り上げに留まりました。ただし、天気の良い土日、お盆の日には多くの来場があり、バナナボート、水上アスレチック共にスタッフは大忙しで、人気の高さが伺えました。毎年来てくださる方やワンシーズンに何度も来てくださる方など、リピーターが多かったことから、これらの事業が認知・定着していると感じています。しかしながら、水上アスレチック遊具の導入から 5 年が経過し、その多くで破損、劣化が進んできており、このまま同様に事業を続けるのは難しいと思っています。

次シーズンに向けての新しい施策検討が必要となってきています。



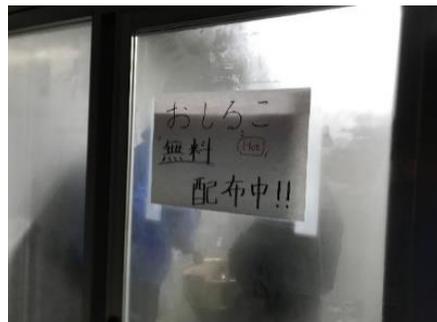
●各種イベントへのPR 出展

「渚の交番」の存在と活動 PR のため、市内各地でのイベントへ出向いて PR 出展を実施しました。2019 年度は御前崎市大産業まつり、比木公民館まつり、東海清風園まつりと計 3 回の PR 出展を行いました。それぞれのイベントで水上オートバイ展示とブースでは活動展示およびマリクラフト（貝殻工作）を実施、子供たちにはマリクラフトが大変人気でした。普段あまり海と関わりの無い方にも「渚の交番」を知っていただく良い機会だと感じているのでこういった機会を大事にしていきたいです。



●初日の出特別開館（お汁粉振る舞い）

初日の出を見に来てくれる来場者に渚の交番を解放し、お汁粉を無料配布。今年は天気が良かったこともあり、駐車スペースはすぐに満車となりました。また気温が 0 度に近いということもあり、渚の交番施設を開放。暖かい場所で初日の出を見ていただけるといふこともあり今回も大変好評でした。



●各趣講座、イベントの開催（ハロウィン、定例ヨガ教室、定例応急手当勉強会等）

渚の交番をより開かれた場所とし、加えて活動の認知拡大につながるよう、施設内および周辺において様々な催し物を実施しています。一般の方にも利用していただけるレンタルスペースでは毎週定期で行っているヨガ教室、毎月1回の応急手当勉強会をはじめ、2019年度はドローン体験、磯の生物勉強会なども実施、また新たな取り組みとしてマイクロプラスチック問題を取り上げたワークショップなど、海の環境問題周知にも取り組みました。

御前崎渚の交番は目の前に水平線が広がり、大きな窓越しに明るい日差しが取り込めるという好環境なスペースが「ウリ」でもあります。より多くの方々に利用していただけるよう働きかけをしていきたいです。



「海と人をつなぐ事業」として2019年は新しい試みを多く取り入れた年となりました。2020年においては、これまで、「とにかく新しいものをより多く」という方向性だったものを「新しいものを取り入れつつ、より洗練されたものに」をテーマとしていきます。水上アスレチックは別のアトラクションへ、SUP マラソンは別団体へ移管し協力団体として関わる、マイクロプラスチック問題の啓蒙活動は協力企業を募り、常設でのイベント実施へ・・・などなど、これまでの経験と知識を生かして、新しいステージへと進んでいく・・・そんな事業年度にしたいと考えています。

とはいえ、新型コロナウイルスの影響により、すでに開催できなくなっているイベントなども数多くあり、2020年度は例年通りの事業実施が困難なことが予想されます。そのような中でも、可能な限り実施できることを模索し、海と接することで、みなさんの元気が取り戻せるよう今年度も「海と人をつないで」いきます。





御前崎スマイルプロジェクト 2020 年度活動方針

今年度は新型コロナの影響で様々な活動がすでに中止、延期される事態となっています。まったく先が見えず、実際の活動がどのように進めていけるのかも手探りの状態です。しかし、このような状態だからこそできること、やるべきことがきっとあるはずです。われわれはその“今できる活動”“こんな状況だからこそやるべきこと”を確実に実行に移し、それを周囲の人たちに知っていただく行動を取っていきたいと思います。

特にパトロール活動や安全講習、訓練等を実施していることを行政機関やその他関連団体に積極的にアピールし、『御前崎の海＝安全、安心』といったイメージアップにつながるよう努めていきます。これまで積み重ねてきた活動を周囲に認識してもらうことにより、それがわたしたちの存在意義として地域に浸透し、安心安全な海が次世代へ受け継がれていくと信じて行動していきます。

そしてまた、今年度においてはわたしたちの活動を継続性のあるものとしていくためにも、収益性を高める行動にも積極的に取り組みます。これまで行ってきた自然体験活動やマリンスポーツ体験といった事業の実績を生かし、公官庁や民間に対してアプローチし、事業規模の拡大と永続的な関係性の構築に努めていきます。

さらには環境問題にも注力していきます。現在、世界的に問題となっている海洋マイクロプラスチックに関してイベントや展示等により“海のまち御前崎”にも問題意識の定着を図るべく行動を起こします。まずは地元企業、県、市とリンクし、広く海洋マイクロプラスチック問題を周知していき、数年の後は全国の渚の交番ネットワーク、日本財団などの協力も得て、全国的な活動へとつなげていきます。そして、SDG s 活動を推進し、自然環境問題に取り組む団体として周知を図ります。





Omaezaki Smile Project

一般社団法人 御前崎スマイルプロジェクト

SNS 各種



[Youtube.com/channel/UCJjzEZSiau2QH1yr02baYWQ](https://www.youtube.com/channel/UCJjzEZSiau2QH1yr02baYWQ)



[Instagram.com/OmaezakiSmileProject](https://www.instagram.com/OmaezakiSmileProject)



[Facebook.com/OmaezakiSmileProject](https://www.facebook.com/OmaezakiSmileProject)